

「授業づくり」を考える

— AIは授業をつくれるのか —

定員
144名

AIが一瞬でそれらしい授業案をつくる時代。

でも、「目の前の子どもたちにとって、どのような学びを価値あるものとするか」を決められるのは、私たち教師だけです。

AIは教師の考えを映す鏡—— 授業づくりの原点を、みんなで考えましょう。

日時 令和8年 **7月24日（金）** 14:00～16:30 受付 13:40～

会場 たかつガーデン 8階 たかつ（東中）

第1部 講演 14:00～15:30

14:00～14:10 開会・趣旨説明

- AI時代の授業づくり
- 教師の教育観・評価観
- 本日の講演とWSの位置づけ

14:10～15:20 講演

東良 雅人 先生

元文部科学省視学官

ご講演いただく内容

- 美術科が育む資質・能力
- 授業づくりで大切にしたい視点
- 子どもの学びをどう捉えるか
- 次期学習指導要領の改訂について など

15:20～15:30 質疑応答

15:30～15:40 休憩

第2部 ワークショップ 15:40～16:20

『AIは授業をつくれるのか？』

ねらい

AIは教師の考えを映す鏡であり、授業づくりの出発点は教師自身の教育観・評価観にあることを体験的に理解する。

STEP 1
(5分)

<個人>

お題：「新聞紙を使った授業を考えて。」

AIに追加で指示を出すなら何を入力しますか？

例：楽しい授業／主体的な授業／協働的な授業／
評価しやすい授業 など

STEP 2
(10分)

AIが作成した授業案を比較し協議する

問い：出てきた授業案を比較しながら、
「この授業で子どものどんな力を育てたいか」を考える。
さらに「その力を育てるなら何を評価するか」を考える。

STEP 3
(10分)

全体共有

出てきた意見や考えを全体で共有する

STEP 4
(5分)

まとめ

今日の学びをふり返り、これからの授業づくりにつなげる

16:20～16:30 諸連絡・閉会

研修会の連絡事項をお伝えします。
閉会あいさつ